

学位被授与者氏名	金 蘭 (きん らん)
論文題目	中国の労働問題 ―労使関係の悪化とその背景―
論文審査結果の要旨	<p>本論文は中国の労使関係に影響を与えると考えられる就労状況、労働契約法、賃金制度と賃金水準、工会の性格などについて検討し、労働争議の多発に示される労使関係の悪化は所得格差の拡大や物価上昇を背景とした賃上げ要求と労働契約法の施行に触発された労働条件の改善要求にあることを明らかにしたものである。</p> <p>本論文では、就業構造の変化、戸籍制度の機能、失業率統計の問題点、労働契約法の内容、賃金制度の変遷とその特徴、賃金上昇とその影響、中国の労働組合たる工会の機能などが説得的に分析されている。とくに、工会の性格については、制度上の問題にとどまらず南海本田の事例分析を行って、労使紛争に工会が果たした役割を浮き彫りにしている。</p> <p>労使関係の分析にやや不十分な点はあるものの、全体として修士論文たるにふさわしい内容だと評価できる。</p> <p>平成 25 年 2 月 22 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 9 階資料室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(経済学)として十分な内容であると判定した。</p>